

平成26年度

# 小山町金太郎少子化対策事業 (地域少子化対策強化事業)



## <目的>

出産から就学時前の相談体制の強化により  
子育て環境整備の充実を図る。

1) 妊娠中・出産後の相談や支援、母子保健事業  
(乳幼児健診や相談)、子育て支援事業に助産師・  
保健師・子ども相談員等の専門職が、継続的に親子  
に関わることができるような、一貫した支援・相談  
ができる体制を構築する。

2) 高校生、成人式参加者、結婚出産前のカップル  
など、これから妊娠・出産を経験する若者に対し、  
妊娠・出産に関する正しい知識の提供を行う。

# 平成26年度 小山町金太郎少子化対策計画

事業内容	事業費
(1) 助産師による妊婦電話相談・子育て相談事業	434千円
(2) 母子保健事業へのこども相談員の配置事業	162千円
(3) 不妊症・不育症に対する支援者研修会事業	63千円
(4) 親子の絆づくりプログラム事業	121千円
(5) 出産前教育事業 ①高等生への妊娠・出産に関する正しい知識の提供 ②成人式参加者への妊娠・出産に関する正しい知識の提供 ③映画「うまれる」上映会・講演会および参加者交流会 ～究極の育児は夫婦仲～ ④講演会 ～妊娠・出産についての正しい知識の提供～	2,050千円
(6) 子育てアドバイザー事業 アドバイザーの子育て支援施設等への定期訪問による職員に対する助言・指導	4,190千円

## 助産師による妊婦電話相談・子育て相談事業

妊婦電話相談・こんにちは赤ちゃん事業（新生児訪問）・子育て相談を、同一助産師が実施することで、妊娠中から出産、新生児訪問、子育て相談と継続した支援を実施する。

## 親子の絆づくりプログラム事業

子育て支援は、情報提供だけではなく、親同士をつなぎ、親同士で学び合えるような子育て仲間や環境をつくる必要があるため、親が親として成長することに焦点をあてた支援を構築

## 母子保健事業（乳幼児健診・相談）へのこども相談員の配置事業

母子保健事業（幼児健診）へ保育の専門家であるこども相談員が介入することで、在宅児から、保育園・幼稚園就園までの子育て相談・情報提供を継続的に実施。

## 不妊症・不育症に対する支援者研修会事業

女性の健康を生涯通じて地域で支える体制が不妊症・不育症の女性をサポートにつながるため、母子保健関係者が妊娠出産に関する専門的知識を持ち、地域で連携して継続した支援が行えるように専門の医師を講師とした研修会を開催する。

## 出産前教育事業

- ・高校生や成人式参加者等の若い世代が結婚や子育てに対する夢や希望を持つことができるようにきっかけづくりをするとともに、正しい知識の提供・教育を行う。
- ・若い世代だけでなく、若い世代を支援する幅広い対象へ、命の大切さや家族の絆、人とのつながりの大切さを、映画「うまれる」上映というツールを使い、感動と共に伝えていくことで、妊娠・出産・育児のすばらしさ、生きることの大切さ、よりよいパートナーシップを築き健全な家庭をもつための情報提供と意識啓発を図る。
- ・子どもの結婚感や子育てに影響を与える、親への妊娠出産に関する正しい知識の提供と教育の機会を作ることを目的に講演会を実施。

妊娠

出産

子育て

乳児・幼児期

学童・思春期

金太郎少子化対策

若者（高校生・成人）

## 子育てアドバイザー事業

町内の幼稚園・保育園・認定こども園、子育て支援センターへ子育て支援アドバイザーが定期的に訪問を行い、職員に対する助言・指導を行う